

万年青
おとと



九州シニアライフアドバイザー協会

会報
第 125 号

2022年(令和4年)1月1日発行



上田

36年に一度しか
巡ってこない
九星で最強の運勢
「五黄の寅年」の年に
7回目の誕生日を迎えます。
一字十笑百吸千字万歩
の毎日！！

藤井

何事にも
楽しみを見つけて
バランス良く！！

金尾

自然との共生、
グリーン社会の
実現を目指し、
地域の美化に
努めたい

久富

透明感のある生活を
したいと思う。

山崎

やりたいことを
自然体で

福与

40歳で禁煙。
80歳を迎え
節酒し
 γ -GTP値50以下
を維持

酒井

令和4年もどうか
穏やかな年で
ありますように、
協会のみな様
のお幸せを祈ります

新しい年が素晴らしい
一年でありますよう
お祈りいたします

藤島

何事にも
「トライ」で
笑顔の花咲く年に
しましょう

阪下

年に一度は、皆さんに
お会いしたいですね。
総会、全体研修会、レク
レーションに参加できる
よう毎日ラジオ体操を
頑張ります。

本村

100歳を目指し
今年
食事・運動の
見直し継続の
実践を図る

松原

一日一日を
大切に
過ごしたい

松尾

無病息災を願い
背伸びせず
自然体で暮らす

佐野

今年もコロナ渦？
油断せずに自己管理
…せめて大声で
笑って過ごしたい！

安部

一所懸命
やりとげたら
次に 挑戦！



協会イベント情報

自主研究会 2022年1月～6月 定例会スケジュール(予定)

自主研究会	1月	2月	3月
一気会	8日(土) 13:30～		11日(金) 11:30～
福祉研究会			20日(日) 14:30～
ジェロントロジー研究会	13日(木) 10:30～		10日(木) 10:30～
高齢者雑学研究会	11日(火) 13:30～		8日(火) 13:30～
生活総合研究会	19日(水) 13:00～	16日(水) 13:00～	16日(水) 13:00～

自主研究会	4月	5月	6月
一気会	8日(金) 11:30～		10日(金) 11:30～
福祉研究会	16日(土) 14:30～		18日(土) 14:30～
ジェロントロジー研究会			11日(木) 10:30～
高齢者雑学研究会		10日(火) 13:30～	
生活総合研究会	20日(水) 13:00～	18日(水) 13:00～	15日(水) 13:00～

(時節柄、中止・変更が多くなっています。各自、事前確認よろしくお願い致します。)

九州 SLA 協会会員へのお知らせ

九州 SLA 協会は、協会会則第10条第2項及び役員選考委員会細則第4条の規定により、令和4年度の役員の内、会長及び監事の自薦・他薦の候補者を公募します。
自薦・他薦の立候補を希望される方は、氏名及び立候補する役職名を記載して、
令和4年3月1日(火)までに 事務局までお申し出ください。

これからの主な予定(2022年)

- ★全体研修会 1月15日(土) 13:30～16:00
 - ★春の全国一斉電話相談会 3月26日(土)～3月27日(日)
 - ★役員改選・決算・監査 4月
 - ★第23回通常総会 5月14日(土) 13:30～(仮予定)
- ～いずれも 詳細は後日連絡いたします。奮ってご参加ください!～

シリーズ（1）

茶の間からのジェロントロジー

顧問 先川祐次

ジェロントロジーって何？

結論から先に言えば格言でいう「備えあれば憂いなし」や「天は自ら助けるものを助く」を自分にあてはめ、明るく楽しく齢を取っていけるように高齢社会の勉強に励むことと言えます。

お互い50歳前後になると、ふと齢を感じる時があります。玄関を上がる時「どっこいしょ」といい「忙しい」「疲れた」が口癖となり、目の前の人の名前が出てこなくて焦り、家族からテレビの音が大き過ぎると叱られます。また定年を迎えるころからは年金、介護、健康、家族や住まい、人付き合いの煩わしさなど高齢期特有の悩み事が増えてきます。

しかし考えてみれば、このような悩みは人生80年の時代になったからこそで、還暦まで生きられたらお祝いしてもらえた時代には無かったことです。そして新たなプラス30年は人生50年時代には予想できなかった環境です。長生きできるようになったのはなんとと言っても平和がつづき、総ての生活環境がよくなったからで、日本だけではなく世界全体が間もなく高齢社会になります。



いま日本では毎年80万人以上高齢者が増え2008年には国民の5人に1人が65歳以上となり、100歳人口も36276人、1963年当時は157人だったのですから元気で100歳は珍しくない時代になっているのです。

国連の世界保健機構（WHO）では高齢者は年齢だけで区別するのではなく身体的、精神的、社会的に総合してその人のあり方を判断する時代であり、働くこと、学ぶこと、遊ぶこと、介護することが誰にでも公平に行き渡るような世の中になるべきだと提唱しています。

これからは元気高年者が増えるので年寄り感覚が薄れ、社会的な刺激が活発になり医療、生活技術、栄養、健康知識の普及などで長寿環境が整ってきます。そのあり方を学び周囲に普及することでシニアライフの活性化に貢献するのがSLAの課題であり、それが長寿社会の人間学というわけです。

2021年11月17日先川祐次氏急逝にあたり、哀悼の意を含め、12年間全52回にわたる「茶の間からのジェロントロジー」ご連載に深謝し、連載第1回（万年青72号）を掲載させていただきました。

『先川裕次先生から学んだこと』

会長 山崎 正弘

先生のご逝去の報に接しご冥福をお祈りいたします。

人生100年時代、これを超える方々は8万人以上と言われています。しかし、先生のこれまでの来し方、そして命が途絶える直前までの生活行動様式、考え方を思うとき「全く別格の100年」であったのではないだろうかと考えます。

私はSLA会員として、先生と同じ組織に所属していることが誇りであり、自慢の一つでした。

先川先生は、ジェロントロジーの思想に強く感銘を受けられ、米国の大学で4年間に及んで学究されました。その成果を何の惜しげも無く公開され我々各会員は「茶の間からのジェロントロジー」として、無料で接することが出来ました。そこには、新しく身近な話題を各方面から涉猟され、難しい内容を質を落とすことなく、平易な文章で誰もが素直に受け取ることが出来るように話を展開される筆法があり、正に天賦の才としか言い様がありません。余人が及ぶところではありません。

先生は、常日頃生涯学習のことをお話されていました。ジェロントロジーの、底に流れるものは「何歳になっても学ぶ」姿勢なのでしょう。電話相談会に携わる身として、その都度自分の力不足を痛感しています。

電話相談会を生涯学習の実践の場として自らを磨き、先生の意志を少しでも継ぐことが出来ればそれだけで協会会員になった価値は十分にあると、思いを新たにしています。

合掌



先川先生 ありがとうございました！

1. 総括

第51回電話相談「シニアの悩み110番」は2021年9月25日(土)～26日(日)の2日間、全国5カ所(九州、関東、中部、東中国、中国)で開催された。

新型コロナウイルス緊急事態宣言下、マスコミ訪問もままならず、相談員募集も控えめに最小メンバーでの準備となったが予想を超える相談を受付ける事が出来た。

(1) 特記事項

①スタッフ：相談員4名、データ集計担当1名の計5名(延べ10名)

②会場：福岡市西区生松台3丁目20-2 エバーグリーン生松台第3集会所

コロナ感染対策が施された広い会場で、感染防止3つの基本対策を遵守して対応した。

③広報活動：◎福岡市政だより◎新聞掲載による案内◎TV局による取材・放映

この3本柱で広報支援をお願いしているが、今回はTV取材も3社の協力が得られ高齢者に広くお知らせできた。

④相談件数：61件 内訳 *市政だより20件(33%) *新聞社5社12件(20%) *TV・ラジオ局3社 29件(47%)

⑤事前研修会：コロナ禍のため見送った。代わりに公開されている官公庁の相談窓口や諸資料を再編成して相談時の利便を図った。

⑥経費(実績見込み)：約47,000円

会場費、NTT工事費、相談員交通費・日当・昼食費、資料印刷費、切手代

(2) 全国相談件数 前回279件⇒274件(98.2%)

関東が157件⇒95件と40%減と中国の減を九州、中部、東中国の増加により前回ベースがキープできた。前年同期比145%

各協会別相談件数

(単位：件)

	九州	関東	中部	東中国	中国	合計
今回 (R3.9)	61	95	47	28	43	274
前回 (R3.3)	27	157	24	18	53	279

参考：令和2年9月 合計189件



【テレビニュース映像】



2. 九州協会の特徴

(1) 相談総件数は、前回の 27 件から 34 件増の 61 件・・・TV 放映の効果大

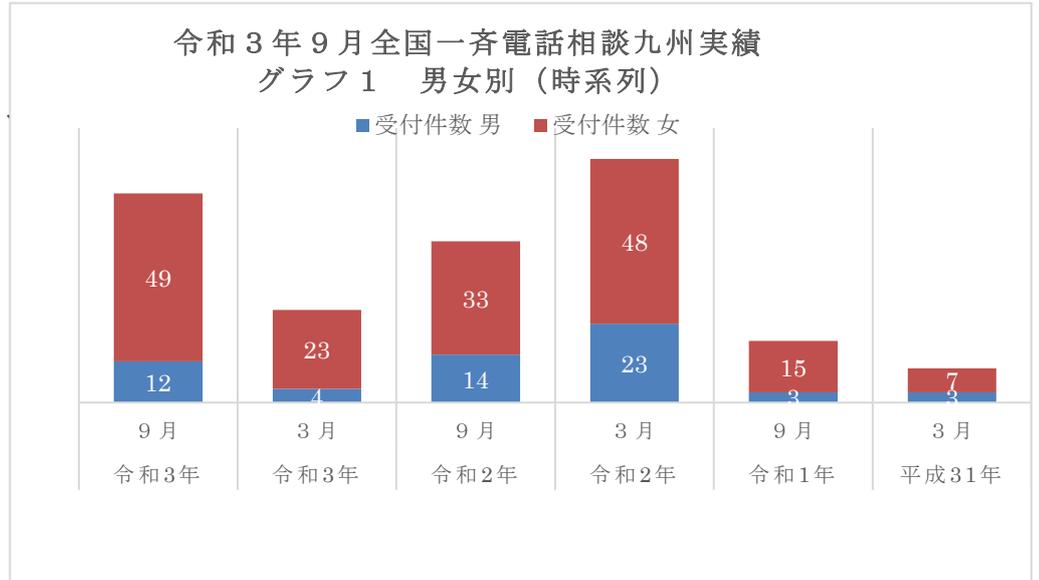
(2) 相談者の男女別実績は

男性 12 件 (19.7%)
女性 49 件 (80.3%)
となった。

従来傾向は

男性 3 : 女性 7 がベース
だが、今回も男性比は
低下している。

【グラフ 1】

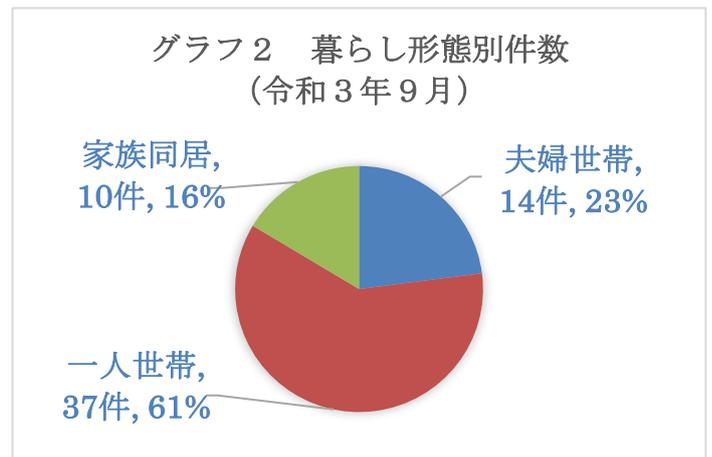


(3) 暮らし形態別は

「一人世帯」37 件 (60.7%)、
「夫婦世帯」14 件 (23%)
「家族同居世帯」10 件 (16.4%) となった。

大きな変動でないが、夫婦世帯が 4.5%
増加、一人世帯、家族同居世帯からの
相談が減った。

【グラフ 2】

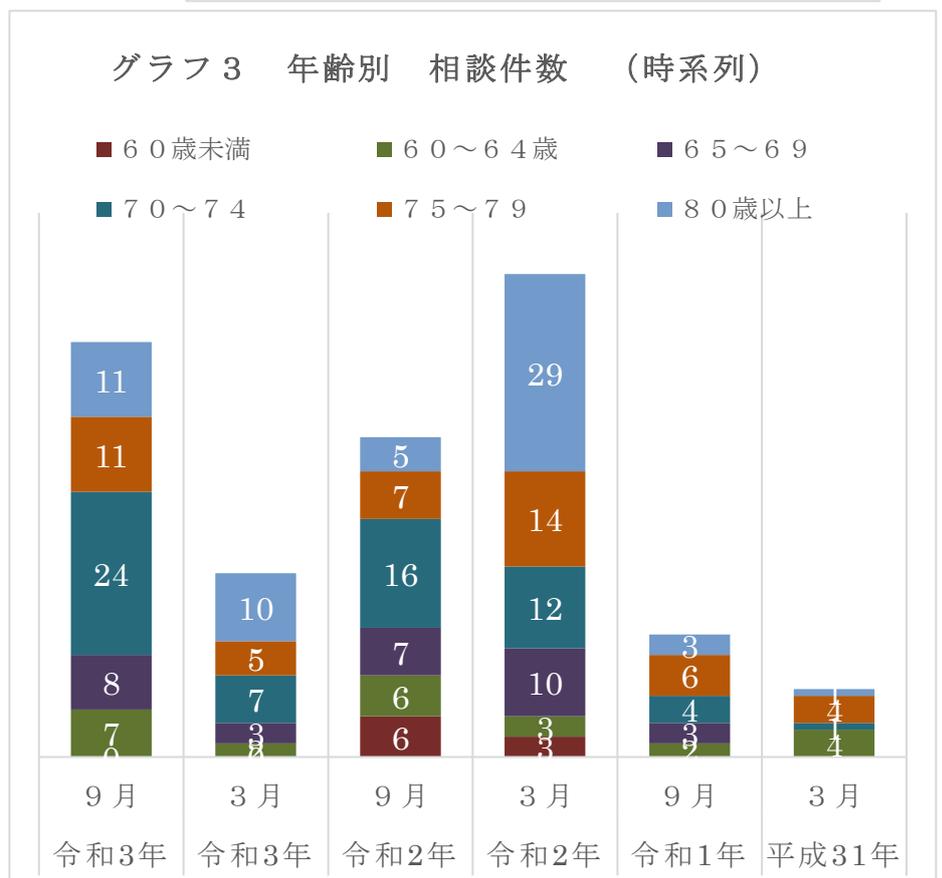


(4) 年齢別は

毎回 70 歳代がトップで
今回も 35 件 (57.3%) と
6 割弱を占め、次いで
60 歳代が 15 件 (24.6%)、
80 歳代が 11 件 (18%) と
なった。

5 年ピッチでは 70~74 歳代が
24 件 (39.3%) と相談者の
中核を占めている。

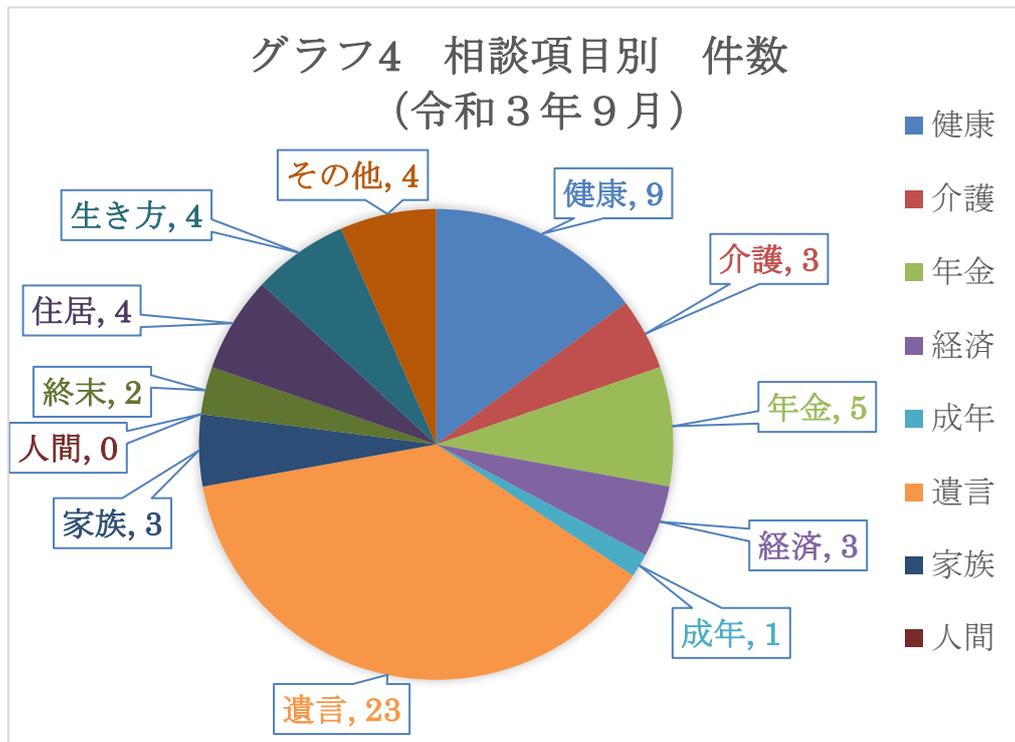
【グラフ 3】



(5) 相談項目別のトップは毎回「遺言相続」だが、今回も 23 件 (37.7%) とトップ、次いで健康・医療が 9 件 (14.8%) を占めた。

一人暮らし者からの将来への医療不安、医療機関への不満、入院時の保証人の問題と毎回寄せられる内容が多い。コロナについてはワクチン接種への不安が 1 件あった。

毎回上位にある「家族親族」3 件だったが、他の分類に入れた項目には家族 (不満、不安) 問題が内在している。 【グラフ 4】



3. 課題

(1) 広報支援次第の相談会であり、各協会も同様の事情である。コロナ禍で社会活動が停滞していることでマスコミが当方に目を向けてくれた背景もありそうだ。

①市政だより ②主要新聞社 ③民放 を 3 本柱として、当方の活動を地道に報告し高齢者問題への関心、報道機関の役割を維持、向上して戴ける事が肝要と考えている。

(2) 相談員がいよいよ固定化、高齢化してきた。

相談内容は受話器を取るまでわからない。「他人様のお悩み相談」は緊張を強いられ、大抵の方は尻込みしたくなる仕事である。年齢とともに聞き取り難さ、記憶力低下等自身の健康上の問題も無視できなくなってきた。

(3) 子機 1 台を 2 台増の 3 台体制検討。

今回は 2 台 4 名で受け付けたが、話中で繋がらなかった件数が発生したと推測する。

(市政だよりの連絡先用に個人携帯番号を掲載したのでこの番号で 5 件受け付けた)

折角の相談者に対応できないことは申しないし、広報協力してくれた報道機関の信用にも関わる 3 台 6 人の相談員体制を検討。経費は電話機 1 台 (5 千円以下)

(4) 女性相談員の養成

他協会は会長、理事長、電話相談責任者は女性会員が中核を担っている。

当協会でも女性会員の更なる戦力活用を相談したい。

以上

ジェロントロジー研究会

三期生 金尾



ジェロントロジー研究会は、2003年長寿社会の人間学を探究する研究会として15名のメンバーで発足し、各々が色々な視点から「ジェロントロジー」を考察し、定例会にて発表してまいりました。2021年度現在では6名のメンバーとなりましたが生涯学習を続けております。

11月12日の定例会で

「茶の間からの老年学 101歳からの手紙」を元気に発表されました先川祐次氏が、まさに長寿人生を全うされ11月17日に他界されました。研究会のメンバーというより、九州SLA協会のバックボーンとして活躍された先川氏のご逝去は、誠に寂しい限りです。

2019年に白寿記念のお祝いの会を協会員が集まって開催し、白寿記念誌として「茶の間からのジェロントロジー」を発刊できました。

翌年は100歳を迎えられ、「100歳万歳！」と研究会のメンバーでお祝いを致しました。

【↓写真】

朝日新聞に連載された、先川さんの「101歳からの手紙～満州事変と満州国～」は、写真とともにインターネット上でも紹介されております。

次年度からも残されましたメンバーで研究会活動を続けていきたいと思います。

我が国のコロナ禍は、新規感染者数は低減の兆しが見えてきましたが、年末にかけて新たなオミクロン株が世界的な蔓延となり、日本も急速に広まっております。

2020年から続けてきた新しい生活様式として

1. 身体的距離の確保（ソーシャルディスタンス）
2. マスクの着用
3. 手洗い

この3つの基本の再徹底が重要です。

社会生活においても在宅勤務やオンライン会議、通販の利用、持ち帰りやデリバリー等、コンパクトなライフスタイルになり人的な交流も希薄となるなど、コロナ禍が投げかけた光と影は大きな社会の変化となりました。

景気は回復が鈍く、従来の新自由主義的な政策が非正規雇用者や低所得者の増大を招き、格差社会となり消費の増大には至っておりません。成長と分配の好循環のメカニズムにより、分厚いといわれる中間層に対する「子育て支援」や「介護の基盤強化」により、「一億総活躍社会の実現」が叫ばれています。

安定した社会を実現していくためにも、高齢者もコロナ対策を万全に行って、仕事でもボランティアでも社会と関わっていくことが大切です。

本年も活発な意見交換ができるリアルな定例会を行い、ジェロントロジーを学んでいきたいと思います。



福祉研究会

三期生 久富

コロナ禍での公共施設の開放・閉鎖に合わせて福祉研も、休んだり開いたりしてきました。今回の勉強会は、①幸先詣について ②九州国立博物館 を12月18日に実施しました。

1 福岡から生まれたと云われる「幸先詣り」

福祉研が利用している公共施設の「あすみん」へ行くときには、警固神社横を通りますが、神社にはすでに、初詣用の大きな旗が立ち並んでいます。

2021年12月1日から2022年2月28日までを初詣の期間として設定されていて、年末から新年にかけてのお参りと同じように、「おみくじ」も新年版、お札、破魔弓なども受けることができます。

県内は例年お正月3ヶ日で約1500万人の参拝客が見込まれるとのことですが、このような「幸先詣」の形になったのは、福岡の人の初詣への思いが多いからだろう、といわれますし、福岡県は神社数が多いことでも知られています。



2 九州国立博物館



九国博・2005年（平成17年）10月16日開館。
山並みを思わせる波打つ屋根、緑を映しこむ大ガラスで覆われた建築。展示品を守るため、免震構造も完備。太宰府天満宮裏の丘陵地に建設されました。
←ミラーガラス張りの建物壁面

九州国立博物館は、太宰府市石坂にある歴史系の博物館です。独立法人国立文化財機構が運営する博物館の1つで、2005年10月16日開館。

日本において国立文化財機構が運営する「国立博物館」を称する博物館としては、1897年設立の京都国立博物館以来、108年ぶりに新設されました。日本の国立文化財機構が運営する国立博物館の中で最大の敷地面積と、1つの建物としては30,085m²と最大の床面積を持つ博物館で、開館当時はこのことが話題となりました。

（ただし東京国立博物館のメインとなる5つの展示館の合計延床面積60,420m²には大きく届きません。）

100年以上の歴史を有する東京・京都・奈良の3つの国立博物館が美術系博物館であるのに対して、九州国立博物館は歴史系博物館として設立されています。



虹のトンネル

博物館への通路、虹の動く歩道のトンネルは、赤・青・緑・ピンク・紫などに光が変わる印象的な通路。

虹のトンネル



吹き抜きの
エントランス

吹き抜きのエントランスホールは、九州の杉の間伐材、約4000本を組み上げた迫力のある天井です。

現在の九州国立博物館の国宝（4点）

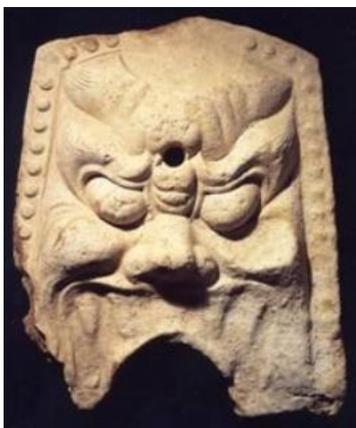
- ・紙本黒絵淡彩周茂叔愛蓮図 狩野正信筆
- ・栄花物語 17帖
- ・太刀 銘・来国光
- ・刀 無銘則房
無銘則房2018年度購入
官報号外政府調達172号（平成30年9月11日）
博物館公式サイト「収蔵品ギャラリー」には未収録。



栄花物語17帖
(の内巻二 十一冒頭)

栄花物語17帖

- ・17帖（大型本10帖、小型本7帖）
- ・紙本墨書 大型本 各30.6×24.2cm
小型本 16.3×14.9cm
- ・鎌倉時代13世紀



常設の展示室では800～900点の文化財を展示。年に数回はトピック展示も公開されます。

大宰府政庁跡北方の畑から発見された鬼瓦、水城跡と交差する御笠川岸で工事中に発見された鬼瓦、大宰府政庁の甍を飾った鬼瓦など。その鋭い眼力は「コロナ」を威嚇するように感じます。

高齢者は、自分が生活する郷土の歴史などを学習した時の方が、知的欲求につながる可能性が高いと云われます。

自らが生活する空間の情報は、受け入れやすく、また情報を基に現地確認することができます。

近隣・友人などの会話の中で、そうしたことを話題にすることで、地域での情報の共有が図られて、蓄積される情報に意外と なりやすいものです。

幸いなことに私たちは国博が近くにあり、いつでも簡単に行くことができます。大いに楽しみたいものです。

生活総合研究会

～今時の生総研活動～

世話人 山崎

生活総合研究会(以下「生総研」という)は、他の自主研究会と比較し、協会活動として登場するのは遅いようです。

電話相談室が、生活相談研究会と衣替えしたのは平成17年、同年に4年ぶりに電話相談会が再開されています。これに呼応して、平成20年「電話相談の手引き」の作成に着手し、22年、24年改正しました。また「電話相談照会先一覧表」が23年作成、27年改正されました。これらの資料に支えられながら、現在相談会のメンバーとして相談に臨んでいます。

コロナ禍の影響で、定例会開催もままならない状況ですがそれでも会合の主題は相談会のテーマになりそうな話題で、ごく最近も家族信託について勉強しました。

開催日の日時や変更などは、従来 E-mail、電話などによっていましたが 文明の利器である Line で「生総研のグループ」を作り、連絡や画像

の送りを行ってまして、一斉に送れてなかなか便利であると実感しています。

ちょっと工夫すれば、出欠も連絡できます。

次は、更にIT技術を駆使してOn-line会議に挑戦してみようかと勉強会を1月定例会で予定しています。この技術を自由に駆使できるようになれば、出かける必要もなくなるのではと思っています。この度のような禍で会合の制約が生じた場合、効果的であることは、既に実証済みです。唯、研究会の存在意義は、集まって顔を合わせてお話しするのに意味があるから、On-line会議の開催はやむを得ないときに限定すべきでしょう。

今後も色々な分野でIT技術を使った新しいソフトが現れるでしょう。研究会活動に使えるものには積極的に取り込む姿勢が必要だと考えています。

あけましておめでとうございます

まちがいさがし みぎの えに まちがいが 3つ あるよ。さがしてみよう!



このページの著作権 © 2023 生活総合研究会

一気会

一期生 中富



『^{ひばる} 桧原桜 物語』

昭和 59 年（1984 年）福岡市の南部、桧原で小さな事件が持ち上がりました。

池の畔にある 9 本の桜の木は地元の人々に親しまれていましたが道路拡張のため伐採される事となり、地元の人々は、落胆しつつもせめて桜の季節が終わるまで、伐採を延期してほしいと願っておりましたが 3 月初旬、伐採業者にて 1 本が切られてしまいました。その後残った 8 本の内、数本に和歌が記された色紙がかけられていました。

花守り 進藤市長 殿 「花あわれ せめてはあと二旬^{にじゆん} ついの開花を ゆるし給え」

あと二旬、つまり 20 日間伐採を待ち、最後の開花を許してやってほしいという歌でした。数日後

「先がけて 花のいのちを 乞う君の われもあとにと 続きなん」

という近所の主婦のエールの色紙がかけられました。数日後、西日本新聞にこの桜の話が報道され、当局と桜の所有者である水利組合とが話し合った結果、伐採は桜の季節以降に延期された旨、記されていきました。

その後、記事を読んだ多くの人々が次の様な花を惜しむ歌の色紙や短冊を持ち寄り、木に掛けました。

「春は花 夏は葉桜 幾年を なくさめられし 並木道かな」

「年どしに 賞でし大樹の このさくら 今年限りの 花をはぐむ」

桜並木に掛けられた数多くの和歌の中にひっそりと「香瑞麻」という雅号が添えられた次の一首がありました。

「^{はな}桜花惜しむ ^{やまと ところ}大和心のうるわしや とわに匂わん 花のころは」

「何とか花の命を延ばすことは、でけんだらうか」と再検討を促した進藤一馬市長の返歌で、この和歌を枝に吊すよう頼んだものでした。

この花を愛する心情が受けとめられ 9 本の内 8 本は歩道の中に組み入れられるようになり、若木 2 本も植えられ桜並木は日本人の心情を表した「桧原桜」として今も愛されています。



人生100年時代をどう生きる ~「LIFE SHIFT」からの抜粋~

生活総合研究会 山崎

(その1)

人生100年時代、我々は大変な変化の中にある。生き方や働き方が様変わりするだろう。その変化を理解し、準備し恩恵を受ける必要がある。その対処の手伝いをするのが、本書の狙いである。この問題は一部の人だけでなく、全ての人に影響を与える。それは遠い未来の話だけでなく、現実化しているのである。

これまで人生を3つのステージに区分する考え方 すなわち教育のステージ、仕事のステージ、

引退のステージだが、支配的であった。そこでは、寿命が延び引退生活が変わらなければ、引退生活を送るため資金の確保のため、働く年数を長くするか、少ない老後資金で我慢するか。何れの選択肢も厳しいところがある。本書は、それを避けるため、3ステージの人生を変えるマルチステージの人生…転身を重ねる、生涯を通じて様々なキャリアを経験する即ち時間の組み立て方を提唱している。

何が変わる

- 資金を得るため70才、80才までは働く事が普通になる。

福岡県でも70歳現役応援センターが開設されているし、法律的にも定年制の廃止、その延長、再雇用の推進などは、既に定着しつつある。

- 新しい職種やスキルが登場する。

我々も経験しているように100年前は農業が主体の労働人口構成から、オフィス労働、サービス業の進展はめざましいものがある。更に、IT技術によりOn-line会議が席卷し事務所まで通勤する必要が減っている状況である。

- 非金銭的要素が重要になる

お金の問題は重要だが、精神・身体・健康、幸福、家族、人間関係等の資源が枯渇すれば長いキャリアの成功は不可能である。金銭面と非金銭面とのバランスを適切に取ることが重要になる。

- レクリエーションからリ・クリエイション（再創造）

寿命が延びた分、余暇時間を消費と娯楽の比重を減らし、3ステージの人生から脱却するための投資と再創造に向け、それに応じて自らの役割を変えるためのライフスタイルを築き、新しいスキルを身に付けアイデンティティ（独自性、自己意識）を変えることが重要になる。スキルを開発することは長い人生計画において、選択肢の幅が広がることにも繋がる。

- 家族と仕事の関係が変わる

子育て後の人生が長くなればジェンダー（性差）の不平等が縮小し、人間関係や結婚生活が変わることになる。我が国においても共働きが当たり前になっていて、お互いがその役割を調整・サポートしながらの姿が多い。このことから家族のあり方が多様化し、ジェンダー平等を後押ししているものであり、この傾向は更に継続されることになる。

(その2) 新しいステージ： マルチステージの人生

前述した3ステージの人生では、年齢を聞けばその人がどのステージかが推定できた。寿命が伸びることにより、活動を経験する順序が多様化し、年齢とステージが一致したものにならない。但し、教育、仕事、引退のステージが選択肢から消えるわけではなく、このような人生が持つ欠陥に対する道が、以下に示す3つのマルチステージの創設である。

○エクスプローラー（探検者としてのステージ）

何歳になっても、この人生をどう生きることが出来るか探索するものだが、30才頃、40歳半ば又は、70歳半ばの時期が人生の転機になりやすく、このステージを経験することが明確な効果を生みやすい。

自分の選択肢について理解を深め、自己の信念と価値観を考え、未来を見据えて、自己の関心と情熱に沿った教育を受けること。価値観に適合し、やり甲斐を感じられ、自分のスキルを反映する就職先・仕事を見つけること。一緒に仕事が出来、自分の働き方との相性が良く、自分を補完してくれるビジネスパートナーと出会うこと。

探検には危険とリスクが伴う。よく考えて計画を立ててこのステージの恩恵を浴すること大事である。

○インデペンデント・プロデュー

（独立生産者としてのステージ）

職を探すのではなく職を生み出す人であるが、事業を成長させるのが目的でなく一時的ビジネスである。こうした生き方をしたい人は、組織に雇われず独立した立場で生産活動（製品を作る、サービスを提供する、アイデアを形作る等）に携わるため時間を費やし、金銭的資産を蓄えることにある。おかねを稼ぐことも重要だが、それよりも生産活動を通じてスキルや知識を身に付けることに重きが置かれる。

このステージで身に付けたものは地に足が付いていて実用的で汎用性が高く様々な産業で有効で未来の仕事に役立つ。

○ポートフォリオ・ワーカー

（多様な仕事に取り組むステージ）

異なる種類の活動を同時並行的に行うステージ。例えば所得の獲得を主たる目的とする活動、地域のコミュニティとの関わりを目的とする活動、趣味を極めるのが目的の活動等様々な活動のバランスを主体的に取りながら生きようとする考え。

このステージは、スキルと人的ネットワークの土台が出来た人にとって有効な選択肢になる。ここでは、出費をまかないながら貯蓄を増やすこと。過去の経歴・スキルを刺激してパートタイム的に役職を担うこと。新しいことを学び、やり甲斐を感じる役割を担うこと。この3つの側面のバランスを取りながらステージを築くというものである。

このためには早い段階で準備に取りかかり、試行錯誤を繰り返しながら広い領域でアピール出来るスキルと業績を築くことが不可欠となる。

終わりにあつて

長寿社会にあつては、変化を予測して積極的に計画を立て、人生の設計と時間の使い方を見直す必要がある。

長い人生を旅立つに当たってどのような内容とするか、上記の各ステージのどの段階から始めるかは、どのような選択肢、どのような価値観即ち自己意識（アイデンティティ）を持って生きるかによって決まる。自らの価値観や希望に添った生き方が出来ればこれこそ最高の「長寿の贈り物」になろう。そのためにも何かに打ち込み或いは学習によって自己の希望を具現化出来るのであれば、これ以上の人生は無いと言えるのではないだろうか。



読後感：本書を読んで「パラダイムシフト（その分野における思考の枠組み・共通の基準からの転換）」の言葉を思い出しました。江戸から明治、戦前から戦後にこのシフトがありました。この100年時代はこれまでの延長線上で、生き様の改革論議をするだけでは通用しなくなったのではないかと思います。

本書が提唱する「マルチステージの人生」の考えは、今の段階では馴染み難く、実感できない部分もあるがIT技術の進展とともに、社会や人々の意識が多様化するにつれ、当たり前になるのではないのでしょうか。



寒さも募り、暖房器具が欠かせない季節となりました。スイッチを入れますと、暖かい風に包まれ気持ちも和らぎます。安定した電力の供給は、家庭に於いて現在のライフスタイルを維持し、また企業にとっても経営上、重要な社会インフラであります。グローバル社会の中で日本は、デジタル化と脱炭素化が大きく遅れており、デジタル庁が2020年9月に発足、現在牧島かれんデジタル大臣を中心に、行政のデジタル化が行われています。

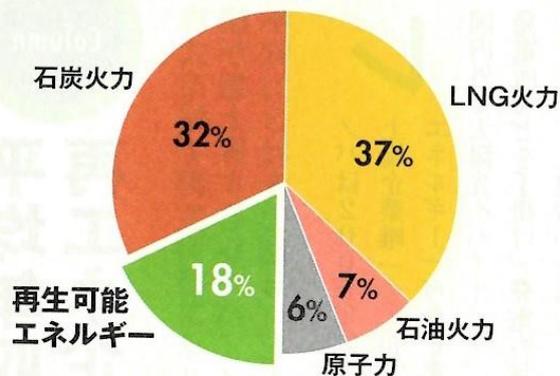
1. 日本の電力事情

イギリス、グラスゴーで開催されました COP26 (conference of the parties)では、197ヶ国が参加して「産業革命以前からの気温上昇を 1.5℃以内に抑えることを目指して努力を追求することを決意する」ことで合意致しました。地球規模での平均気温の上昇はこれまで経験した事のない豪雨災害や農作物の被害等から各国とも大きな危機意識となっています。

日本の岸田首相の「化石火力発電をゼロエミッション火力に転換するため、1 億ドル規模の事業を展開する」との発言に対し、世界最大の気候変動 NGO である「気候行動ネットワーク (CAN)」は、気候変動対策に消極的な国に対して贈られる「化石賞」に日本を選出しました。

これは温室効果ガスの排出源である火力発電事業を推進すると、受け止められたからです。

日本の電源構成 (2019年度)



*経済産業省資源エネルギー庁の資料を基にダイヤモンド編集部作成

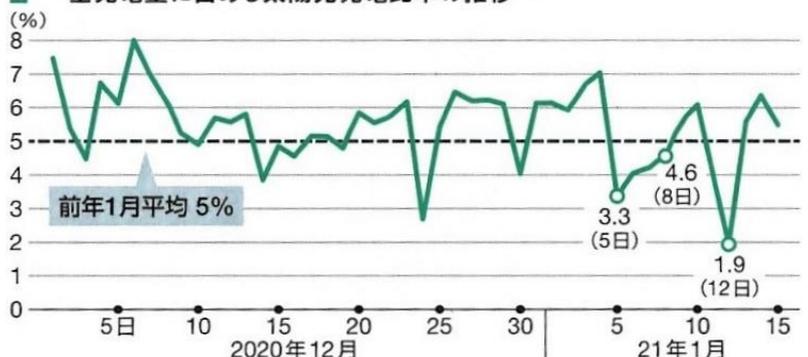
2020年10月、日本は「2050年カーボンニュートラル」を宣言、2050年温室効果ガス削減50%に挑戦しております。

しかし現在の電源構成は、左記グラフの通り、液化天然ガス火力37%、石炭火力32%、石油火力7%と、これ等で76%を占めており、その半分程は天然ガスが担っています。グリーン成長戦略としての再生可能エネルギーは18%となっています。

脱炭素化の大前提である再生可能エネルギーは、太陽光発電が天候事情により左右されるため、当初政府の省エネ対策として有望視されましたが国の対策も中途半端で終わり、電源構成比も低下傾向となっています。(右記グラフ参照)

2015年4月からは電力小売全面自由化が実施され、新電力会社が参入しており電力競争による活性化の成果が期待されています。

天候次第で太陽光が不安定要因に
—全発電量に占める太陽光発電比率の推移—



(注) 電力需給が逼迫した2020年12月~21年1月前半、全国9エリア (出所) 資源エネルギー庁の資料を基に本誌作成

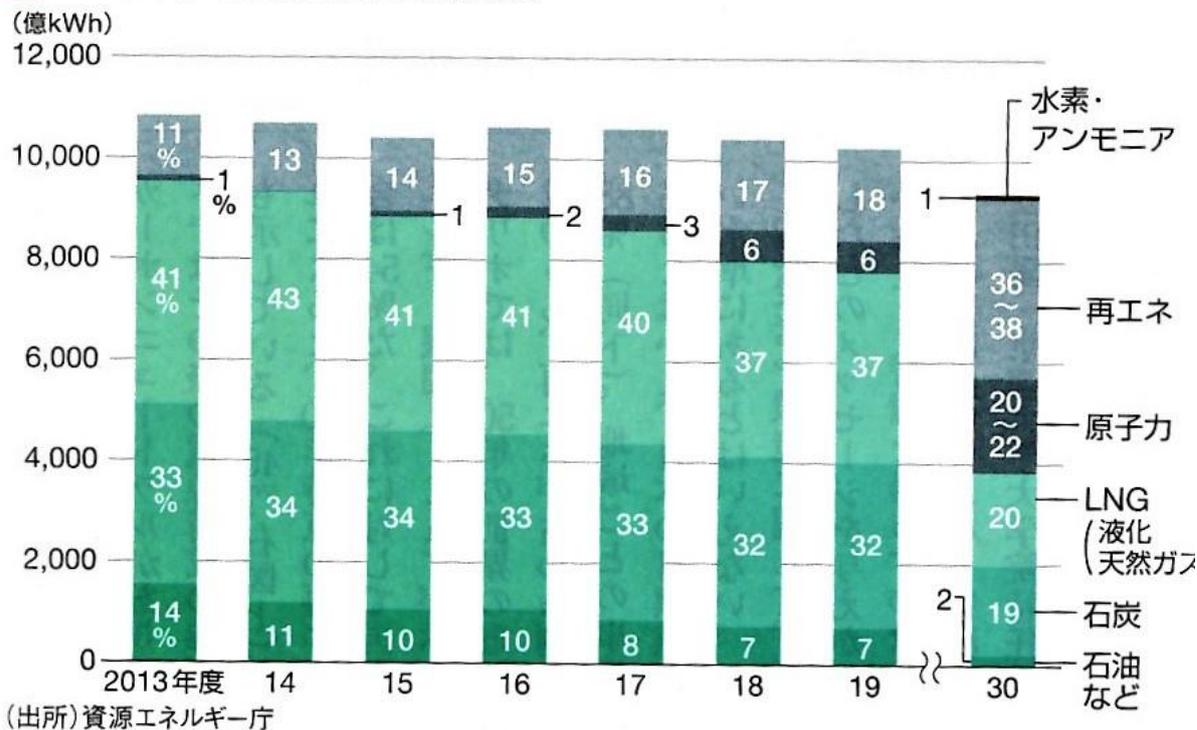
2.再生エネルギーの拡大

脱炭素への移行期には化石燃料の争奪戦が勃発しましたが 2021 年 9 月以降天然ガスの価格が高騰し、特にヨーロッパでは気候変動対策に端を発する物価上昇いわゆる「グリーンインフレーション」の警戒が高まっています。イギリスでは政府による石炭、石油への依存を減らす政策により天然ガスの価格が年初から 1.5 倍となり急激なインフレーションを招きました。また新型コロナウイルスのオミクロン株の拡大で原油価格が高騰し、アメリカでもガソリン高を招き備蓄石油の放出を行い、関係国も対応を迫られています。

日本も電力供給超過時、火力発電所の出力を 20～30%まで下げるように電力会社に求める検討を 更に 50%程度に拡大し、再生エネルギーの活用を促進する意向であります。

特に太陽光や風力の発電に適している北海道や九州から首都圏や大阪等への送電網の整備を行い、2030 年までの脱炭素化とエネルギーの安定供給を両立させていく長中期的な電源構成の計画がエネルギー庁から次のように発表されました。

石炭・天然ガスの比率を7割から4割まで下げる — エネルギー基本計画での電源構成 —



石炭、天然ガスの比率を 7 割から 4 割までに下げるという計画は、政府目標の 2030 年度の温室効果ガス排出量を 2013 年度比 46%削減するという政府目標に合わせたもので再生エネルギーの比率を 11%から 36～38%まで引き上げるために太陽光発電や洋上風力発電を如何にして増設していくかが課題であります。我々も次世代のためにも環境にやさしい再生エネルギーの普及に関心を持たねばならないと思います。

以上



会費納入先「ゆうちょ銀行口座」について

九州 SLA 協会年会費の振込は「ゆうちょ銀行」口座に統一されています。ゆうちょ銀行口座以外の金融機関より振込まれる際の、ゆうちょ銀行口座番号は、別途お知らせしております。

3 月末までに会費納入いただけますようどうぞよろしくお願い致します。

振込手数料（2020年4月より）

・ゆうちょ口座	→	ゆうちょ口座	100円
・他銀行口座	→	ゆうちょ口座	350円
・現金(郵便局窓口)	→	ゆうちょ口座	550円

(九州 SLA 協会事務局)

《編集後記》令和 4 年新年号のお届けが大変遅くなり、誠に申し訳ございません。日常パソコンを使うようになり 20 年以上。その便利さを享受するのがあたりまえの日々でしたが、買い換えてまだ 3 年のパソコンの調子が悪くなり、予定通りに作業が進まなくなると、自分の生活がこんなにも儼なくなるとは！道具も、人間のアタマもカラダも「使い方次第」と常々思っていますが、なによりその「健康」あってのことだと身に染みた年末年始でした。今年、心から願うのは「自分と環境の健康維持」。皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします！ ㊗



【発行日】 2022（令和 4）年 1 月 1 日

【発行者】 九州 SLA 協会会長 山崎 正弘